



Well-being

持続的な幸せを求めて

校長 大地本央仁

Well-being 持続的な幸せを求めて

「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「ありのままに」

P T A 総会へのご参加ありがとうございました。

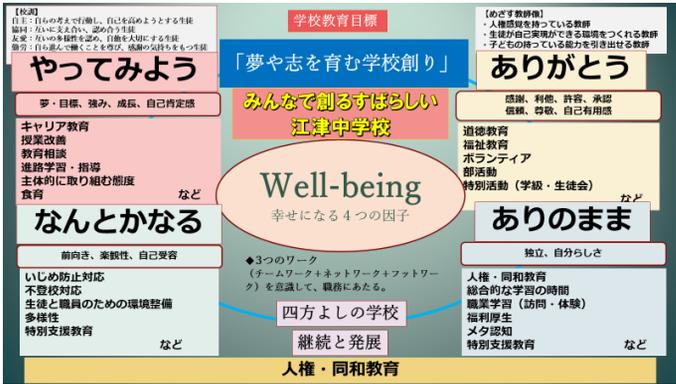
去る4月26日(金)にP T A総会を開催いたしましたところ、お忙しい中、たくさんの保護者の皆さまにご参加いただき、大変ありがとうございました。

さて、本年度も、学校教育目標の達成に向けて、持続的な幸せを求めた「Well-being」を掲げさせていただきました。

本年度は、その中でも「なんとかなる」「ありのまま」に力を入れていきたいと思っています。

先日のP T A総会では、その内容にも触れさせていただきましたが、江津中学校に関わる全ての人にとって良い状態が続くことが大切です。

特に、多様性が大切にされる「ありのまま」をめざして、以下の図のような取組に力を入れていきます。



なんとかなる

前向き、楽観性、自己受容

いわゆる「ポジティブに考える」ことで、必要以上に挑戦を恐れることなく、行動に踏み出す。

多様性 (ダイバーシティ)

- ◆決まりや慣例の見直し
 - ・生徒心得の見直し(生徒会)
 - ・制服の検討
- ◆お互いの権利を大切にする
- ◆関係機関等との協力

ありのまま

独立、自分らしさ

他人と自分を比較ばかりしていると妬(ねた)みや恨みにつながってどんどん幸せが逃げていきます。自分に集中し、いわば「本当の自分らしさ」を探して磨きましょう。

また、Well-being では、誰かの「幸せ」のために誰かが「不幸せ」になったり、一瞬の「幸せ」のために何かが犠牲になったりすることは想定されていません。

そこで、子どもたちの幸せのためによりよい教育を行うことができるようになるための教育環境のひ

学校の働き方改革について

方向性(文部科学省)

- ◆子供たちに対してよりよい教育を行うことができるようにする
- ◆新しい知識・技能を学び続け、質の高い教職員集団の実現

鳥根県内教育長 共同メッセージ - 保護者・地域の皆さまへ -

教職員の「働き方改革」にご理解・ご協力をお願いいたします。

学校の働き方改革について

社会と学校とで役割分担

- ◆子供たちがよりよく学べるようにする
- ◆新しい知識・技能を学び続け、質の高い教職員集団の実現

時間を作る

学校の質を上げる

とつである学校職員の健康や資質を維持・向上するための時間を作り、学校の質を上げていくことは大変重要であると考え、図のようなお願いをし、ご承認いただきました。

今後も、地域の子どもたちをそれぞれの役割を果たしながら、協働して育てたいよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校の働き方改革について

お願いしたり、ご理解いただきたいこと ※少しずつ進めていきたい

可能な限り

- ◆勤務時間内での電話対応
- ◆勤務時間内での会合の開催
- ◆ペーパーレス
- ◆行事等や書類等の精選